

杉和会ビジョン2030

－2022年度 重点事業計画（単年度計画）－

2022年度の事業実績

社会福祉法人 杉和会

2023年4月1日策定

目次

- (基本方針1) 利用者の人権を尊重し、サービスの質の向上を図り、「きょう一日、楽しかったよ」と言ってもらえる施設を実現します
- No. 1 認知症対策の体制整備 (継続)
- (基本方針2) 地域づくりの拠点として主体的な役割を果たします
- No. 2 社会福祉法人としての新しい地域貢献のあり方の検討 (新規)
- (基本方針3) 信頼と協力をいただけるよう、法人の活動を適時適切に伝えます
- No. 3 第三者委員を活用した苦情処理体制の整備と苦情処理内容等の公表 (新規)
- (基本方針4) 職員の働きやすい環境、働き甲斐のある環境の整備と新たな人材の確保を進めます
- No. 4 女性の活躍推進・組織活性化推進委員会(仮称)の設置と新しい取り組みの検討 (新規)
- No. 5 新卒学生等の採用の強化・多様な人材の就労強化 (継続)
- (基本方針5) コンプライアンスを徹底するとともに経営基盤と統治機能を強化します
- No. 6 本部隊の整備 (継続)
- No. 7 BCPの策定 (継続)
- No. 8 盲養護老人ホーム優・悠・邑和(なごみ)あり方の検討 (新規)

5つの基本方針に基づく重点事業計画

【基本方針Ⅰ】 利用者の人権を尊重し、サービスの質の向上を図り、「きょう一日、楽しかったよ」と言ってもらえる施設を実現します

No. 1

施策名	4 充実した認知症対策の実現							
事業名	認知症対策の体制整備 (継続)							
事業概要	<p>認知症研修の受講</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症介護実践リーダー研修については、今須施設で1名、和合施設で3名の受講を計画します。 ・ 認知症介護実践者研修については、今須施設で2名、和合施設で5名の受講を計画します。 <p>認知症ケアの体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長谷川式スケールやひもときシートなど様々なツールを使用し、多角視点から情報を集約、共有して、現場での認知症対応の改善に活かす体制を整備します。 ・ 認知症ケアの体制整備を指導研修修了者が中心に、リーダー研修修了者で構成するチームにおいて検討を行い、マニュアル等を策定します。 ・ 認知症ケアの専門性を高めるために認知症実践者未修了を対象とした施設内研修を開催していきます。 ・ 認知症介護指導者・認知症介護実践リーダーを中心に介護、医療、栄養、リハビリテーション、歯科などの多職種で構成された認知症委員会を設置し、認知症困難事例の対応を協議し現場に提供できる体制づくりをしていきます。 							
事業期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症指導者研修は8月中旬～10月中旬に、実践リーダー研修は6月～12月に、実践者研修は6月～1月の間にそれぞれ開催される研修に参加します。 ・ 認知症ケアの体制整備については、10月以降の半年間で検討を行い、マニュアル等を策定します。 							
事業費	<table border="1"> <tr> <td>受講料</td> <td>貸付</td> <td>円</td> <td>財源内訳</td> <td>円</td> <td>その他事業収入</td> <td>円</td> </tr> </table>	受講料	貸付	円	財源内訳	円	その他事業収入	円
受講料	貸付	円	財源内訳	円	その他事業収入	円		

目標とする成果	認知症対策の充実を目標に人材の育成と、ケアに係るシステム作りを進めます。		
担当事業所	優・悠・邑・優・悠・邑和合、優・悠・邑和	責任担当者	(今須) 吉田主任生活相談員 (和合) 坪井部長 (和) 堀江係長
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・研修について、リーダー研修、実践者研修、基礎研修と計画どおりに受講できました。 ・認知症ケアの体制については、委員会の設立、重要事例の検討、インテークの強化を行い、マニュアルについても作成中です。 		

【基本方針Ⅱ】

地域づくりの拠点として主体的な役割を果たします。

No. 2

施策名	4 地域に開かれ、地域に支えられた施設の実現		
事業名	社会福祉法人としての新しい地域貢献のあり方の検討 (新規)		
事業概要	<p>社会福祉法人として地域に貢献する新しい取り組みとして、コロナ禍の中で可能な次の事業を実施します。</p> <p>(今須)・ポップコーン (琴) メンバールの再結成を行い、月2回の練習を行う。練習した曲を各フロアの演奏会で披露するとともに、地域のいきいきサロンなどでも演奏会が行えるよう取り組んでいきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事 (ごみゼロ運動、関ヶ原フェスティバル、今須奉納相撲など) があった際には参加できるように計画を立てる <p>(和合)・月に1日のみ15分から20分程度、施設周辺の道路沿いのごみ拾いを3班に分かれて行います</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加可能者全員で目標人数は15人、全員施設名の入った法被を着用し一丸となって活動します。 ・地元小学生の交通安全見守り隊に毎週月曜日に参加し、地域活動を行います 		
事業期間	<p>(今須) 2022年4月～2023年3月</p> <p>(和合) 2022年4月から2023年3月までの1年間、12回を予定しています。雨天の場合など、悪天候の日は中止とします。</p> <p>(和) 2022年4月から2023年3月までの1年間、12回を予定し、雨天、学校行事に合わせて参加、中止とします。</p>		
事業費	<table border="1"> <tr> <td>既定費の範囲内で実施</td> <td>財源内訳</td> </tr> </table>	既定費の範囲内で実施	財源内訳
既定費の範囲内で実施	財源内訳		
目標とする成果	施設周辺にごみのない、きれいな環境を維持します。活動中にあいさつなどをすることにより、周辺住民から気軽に声を掛けていただけた関係性を築きます。		
担当事業所	優・悠・邑・優・悠・邑和合、優・悠・悠・邑和 (今須) 西川委員長 (和合) (和) 地域貢献委員長		

事業成果	<p>(今須) ポップコーンメンバーの再結成を行いました。フロアにての演奏会を行うところまでは出来ませんでした。</p> <p>5月に地域の方と一緒に施設周辺のゴミ拾いを行いました。また、職員の手作り神輿を作成し、今須新明地域にて神輿行列を行いました。</p> <p>(和合) 月に1回、全体会議の開催後に十数名の職員が参加して施設周辺の清掃活動を行いました。天候が悪い月を除いて、年間6回実施しました。</p> <p>(和(なごみ))</p> <p>地元の見守り隊については、スケジュールに合わせて参加しました。施設周辺のゴミ拾いについては、地域貢献委員会を中心に定期的の実施しました。</p>
------	--

【基本方針Ⅲ】 信頼と協力をいただけるよう、法人の活動を適時適切に伝えます

No. 3

施策名	3 苦情処理体制の整備と苦情処理内容等の公表
事業名	第三者委員等を活用した苦情処理体制の活用と苦情処理内容等の公表 (新規)
事業概要	<p>苦情の掘り起こし</p> <ul style="list-style-type: none"> 入居者やその家族からの苦情は、多くの場合一般的な「苦情」としての形を取ることは稀です。特に入居者の訴えについては、注意深く傾聴し、希望・要望の形をとって伝えられる事柄についても「苦情」として扱い、その改善を通して、施設全体の介護の質を高める努力をします。 <p>第三者委員等の参画による苦情処理体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年5月に第三者委員を選定した後、報告や相談に該当する案件がなく、十分な活用が図られていない状況となっています。このため、年度末と年度末の2回に定期的な報告会を設け、意見を伺うこととします。 <p>苦情の公表</p> <ul style="list-style-type: none"> 苦情の受付と改善状況について、随時法人ホームページに掲載をします。既に令和3年度途中から実施していますが、改めて前記の苦情の掘り起こしを実施し、改善活動を実施するとともに、その経過を報告します。
事業期間	<p>苦情の掘り起こし</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して実施 <p>第三者委員等の参画による苦情処理体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期報告は年2回、9月と3月に実施 <p>第三者委員等を活用した苦情処理体制の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間を通して実施

事業費	既定費の範囲内で実施	財源 内訳
目標とする成果	苦情を法人、施設の宝として、介護サービスの質の向上に繋げていきます。	
担当事業所	優・悠・邑・優・悠・邑和合、 優・悠・邑和 (なごみ)	責任担当者 (今須) 水野相談員 (和合) (和) 広報委員長
事業成果	<p>(今須) 令和4年度苦情はありませんでしたでしたが、今後とも注意を怠らず第三者委員の方にも協力して頂き、苦情の取り組みに力を入れていきます。</p> <p>(和合) 3/11に第三者委員会への報告会を開催、意見交換を実施しました。また、苦情の公表については、杉和会ホームページに掲載しました。苦情の掘り起こしについては令和2年度20件、令和3年度10件から令和4年度は4件と減少しており、来年度は改めて力を入れて取り組んでいきます。</p> <p>(和(なごみ))</p> <p>3月に第三者委員へ苦情の報告を文章で行いました。今年度は1件の苦情があり、当事者と職員で話し合いを行い、理解を得ることができました。内容は、ホームページに掲載しました。</p> <p>来年度は、苦情となる前の早期発見、対応に努力していききたいと思います。</p>	

【基本方針Ⅳ】

職員の働きやすい環境、働き甲斐のある環境の整備と新たな人材の確保を進めます

No. 4

施策名	1 ワークライフバランスの充実
事業名	女性の活躍推進・組織活性化推進委員会（仮称）の設置と新しい取り組みの検討（新規）
事業概要	<p>①女性の活躍推進・組織活性化推進委員会（仮称）の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性が多い職場であり、女性が持つ力を十分に発揮できる環境の整備を進めることが、組織全体の活性化に繋がりが、延いては介護の質の向上を実現することになります。このため、女性の活躍推進・組織活性化推進委員会（仮称）を設置し、女性のキャリアアップ、継続就労を可能とする新しい仕組み等について検討します。 <p>②働きやすい職場づくり等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員同士で話し合い、今よりも働きやすい職場環境を設けていきます。 ・ 職員のライフイベントや家族状況の変化で余儀なく勤務割の変更が必要な場合は、面談を通じて柔軟な勤務割になるよう推進していきます。 <p>③時間外労働の削減の推進</p> <p>ワークライフバランスの充実に不可欠な時間外労働の削減を計画的に目指します。</p> <p>④年次有給休暇の計画的取得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年次有給休暇について長期間のリフレッシュ休暇を含めて、計画的に取得できるよう環境の整備を図ります。
事業期間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月 女性の活躍推進・組織活性化推進委員会（仮称）を設置します。 ・ 10月 年度前半の、年次有給休暇、リフレッシュ休暇の取得状況の把握と、年度後半の取得に向けた取り組みの決定をします。また、有給の特別休暇について検討します。 ・ 11月 職員同士が働きやすい職場環境について話し合う意見交換会を実施します ・ 11月～2月 職員アンケートや意見交換会を通じて把握した課題や要望を検討し、女性の活躍推進・組織活性化推進委員会（仮称）において指針（案）を検討し、提言します。

	・3月	年度のまとめ、課題把握と来年度の実施計画作成
事業費	既定費の範囲内で実施	財源内訳
目標とする成果	全職員が5日以上の有給休暇の取得と希望者がリフレッシュ休暇を取得できる環境を整備し、有給休暇の平均取得率55%以上の達成を実現します。それにより職員がリフレッシュでき、業務への意欲向上、法人に対しての満足度アップにつながります。さらに充実した福利厚生事業を展開する中で職員が定着します。職員自らが働きやすい職場環境について考え、業務の効率化の動機付けとします。	
担当事業所	優・悠・邑・優・悠・邑和合、優・悠・邑和	責任担当者 (今須) 北島部長 (和合) 伊藤主任生活相談員 (和) 武藤事務係長
事業成果	(3施設合同) 岐阜県主催の継続就業サポートという、専門家によるヒヤリング、講座や座談会の開催とフィードバックをもらえるという事業に申し込み、9月28日にヒヤリングを受け、11月9日に女性職員対象の講座と座談会の開催、11月30日にフィードバックを受けました。それを受けて、来年度は女性職員によるディスカッションの開催、継続的に女性職員が話し合える場の立ち上げなど組織が活性化する取り組みをしていきます。年次有給休暇の取得や時間外労働の削減などについても啓発します。	

No. 5

施策名	6 多様な人材確保の推進			
事業名	中途採用の強化、新卒学生等の採用の強化、多様な人材の就労強化 (継続)			
事業概要	<p>中途採用の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 立ち上げを計画している新しい形態の施設の職員の採用に法人上げて取り組めます。 <p>新卒学生の採用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場実習や研修の受け入れを通じて新卒学生や未経験者、経験者の採用を目指します。 ・ 大学、高校の就職活動期間中の学校の訪問活動を行います。 ・ 介護人材育成事業者認定制度「G1」や「子育て支援エクセレント企業」等の法人の取り組みを積極的にPRします。 <p>多様な人材の就労強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人労働者、外国人留学生、高齢者、障がい者等の採用を推進します。 			
事業期間	<p>新卒学生の採用 大学、高校の就職活動時期にあわせて各校を訪問するなどの採用活動を行います。</p> <p>外国人労働者・留学生 年度初めにベトナム留学生、インドネシアのインターシップ受け入れ等を推進します。</p> <p>高齢者雇用 年間を通して、県老協やハローワークを通じて中高年齢者の雇用を進めます。</p> <p>障がい者雇用 年度初めに支援校、障害者施設からの受け入れを進めます。</p>			
事業費	<table border="1"> <tr> <td>既定費の範囲内で実施</td> <td>財源内訳</td> </tr> </table>	既定費の範囲内で実施	財源内訳	
既定費の範囲内で実施	財源内訳			
目標とする成果	新卒、中途採用、外国人人材の採用や新しいキャリアパス制度の活用等を通して正職員比率を高め、安定的な人員構成を維持し、介護の質の向上に注力します。			
担当事業所	<table border="1"> <tr> <td>優・悠・邑・優・悠・悠・邑和合、優・悠・邑和</td> <td>責任担当者</td> <td>(今須) 五次事務長 (和合) 若山事務長 (和) 吉澤施設長</td> </tr> </table>	優・悠・邑・優・悠・悠・邑和合、優・悠・邑和	責任担当者	(今須) 五次事務長 (和合) 若山事務長 (和) 吉澤施設長
優・悠・邑・優・悠・悠・邑和合、優・悠・邑和	責任担当者	(今須) 五次事務長 (和合) 若山事務長 (和) 吉澤施設長		
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大学、高校、専門学校の前導指導担当者を訪問し、施設のパンフレットとは別に作成した採用活動に特化したパンフレットを用いて説明を行いました。今年度は訪問時期が遅く既に内定している学校が多数であったが、福祉の道 			

へ就職する生徒もいるとの前向きな情報も得る事が出来ました。

- ・ 予定していた通りに年度初めに支援校からの受け入れを行いました。また、支援校より入職した職員1名が介護補助職員から介護職員になり、洗濯業務を行っていた職員1名が介護補助職員から介護職員になる等、介護周辺業務からスタートした職員のキャリアアップを行う事が出来ました。
- ・ 就職説明会に例年以上に参加し、説明の中で介護人材育成事業者認定制度「G1」や「子育て支援エクセレント企業」等の法人の取り組みを積極的にPRする事が出来ました。

【基本方針Ⅴ】 コンプライアンスを徹底するとともに経営基盤と統治機能を強化します

No. 6

施策名	4 本部体制の整備
事業名	本部体制の整備 (継続)
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 本部体制は、法人の規程類の整備・管理、介護報酬改定の情報収集と具体的対応、人事・給与管理、人材確保、職員研修、監査対応、情報ネットワーク管理、広報戦略等の施設横断的な業務を専門的に行うために設置した複数のチームで構成します。各チームはリーダーと数名のチームメンバーで構成され、理事長が総括します。 2021年度当初に優・悠・邑和(なごみ)の開設にあわせて設置しましたが、新型コロナウイルス感染症のため十分な取り組みが出来なかつたため、2022年度に体制の充実を目指します。
事業期間	全期間とします。
事業費	既定費の範囲内で実施
目標とする成果	<p>法人としての判断を3施設の職員が参画することにより機動的に行うことが可能となります。また、この機能の設置により、3施設が同じ方向性を維持しながら、将来にわたり今以上に地域の福祉に貢献することが可能となります。また、それぞれの施設が得た情報を共有する事で、介護報酬改定への対応や職員研修の充実、戦略的な人材確保に繋げていくことが可能となります。</p>
担当事業所	法人事務局
事業成果	規程類の整備に関しては必要な改正等について3施設の意見のすり合わせをしながら、適時適切に取り組むことが出来ました。

また、情報発信については、かつての「ゆう」の復刻版として新たに「電子版ゆう」を令和5年1月に発行し、今後は1月、4月、7月の年3回発行することとしました。

職員研修については、前年度に引き続き「鷹取ゼミ」を3施設合同で実施しました。また、女性の活躍推進をテーマとした女性だけの懇談会を3施設合同で開催し、それに先立って専門家（社会保険労務士）の指導を3施設の担当職員が受けました。

人事考課の実施、昇給幅の決定等については、理事長と3施設の関係者が一堂に会して協議しました。

施策名	5 危機管理体制の構築
事業名	BCP（自然災害版・感染症版）の策定（継続）
事業概要	近年、大規模化・激甚化する自然災害や、2020年に突如発生した新型コロナウイルス等の感染症等の発生に備えて、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための手法、手段を取り決めておくことの重要性が増しています。「自然災害版BCP」と「感染症版BCP」の2本について、2021年度中に作成し、以後毎年度、必要に応じて更新します。自然災害版BCPは今須施設と和合施設では予想される災害種類が異なることから分けて構築することとし、感染症BCPは両施設共通のものを構築します。策定に当たっては、職員で構成するチームを立ち上げるとともに、外部有識者を招いて、短期間での策定を行います。感染症チームの今須と和合の合同会議については、可能な限りEB会議システムを活用して行います。
事業期間	4月～5月 自然災害BCPを策定する。今須、和合それぞれで、有識者の指導を受けながら案を策定し、5月の理事会で決定します。また、感染症BCPについても、今須、和合それぞれで、作業により案を策定し、5月の理事会で決定します。
事業費	4月～3月 優・悠・邑和については、自然災害BCP、感染症BCPについて、年度内の策定を目指します。 有識者謝金 20,000×3回 財源 其他事業収入 60,000円 60,000円 内訳
目標とする成果	高齢者の生活施設として、災害発生時も感染症流行時においても、変わりなく事業を継続して日常生活を保障することを目標として、自然災害と感染症に関するBCPを年度内に策定します。
担当事業所	優・悠・邑、優・悠・邑和合、優・悠・邑和 責任担当者 (今須) 伊藤防災委員長、(和合) BCP策定委員会、(和) 吉澤施設長
事業成果	(今須) 令和4年度、2度のクラスターを経験し、その反省も踏まえ、想定しうるその他の感染症にも対応できるBCPの修正、作成と、毎年繰り返される自然災害に対し、最新情報を取り入れ、随時見直し、更新していきます。

	<p>(和合) 令和4年8月1日に「自然災害」と「感染症」と「感染症」に関するBCPを策定しました。ただし、感染症のBCPについては、令和4年12月～1月に発生した新型コロナウイルス・クラスターにおいて、内容的に不十分な部分があったため、来年度に見直しを予定しています。</p> <p>(和(なごみ))</p> <p>BCPに関しては、研修を参考に作成しました。しかし、法人内施設のクラスターの状況から、変更すべき点が多くあるように感じています。他施設の状況を確認しながら、BCP再作成に取り組んでいきます。</p>
--	--

施策名	6 新規の施設整備計画、大規模修繕計画の策定・施設の整備と運営に関する新しい手法の検討	
事業名	盲養護老人ホーム優・悠・邑和の在り方の検討（新規）	
事業概要	<p>盲養護老人ホーム優悠邑和（なごみ）の経営改善への取り組み</p> <p>コロナ禍の影響で入居が進まず、定員 50 人のところ入居者は 19 名となっています。令和 3 年度は、「優・悠・邑和施設」で多額の赤字が見込まれ、経営の改善が必要です。このため優・悠・邑和のあり方を見直すとともに、3 施設合同で次のような措置を実施します。</p> <p>① 盲養護老人ホーム優悠邑和の定員を 50 床から 30 床とし、早期の満床を目指します。</p> <p>② 残りの 50 床を他の形態の施設に転換します。</p> <p>③ 「優・悠・邑施設」のデザイナーサービス事業の稼働率を始めとして、各施設の稼働率を極限まで高めるなど、全体の資金繰りの改善を図ります。</p>	
事業期間	令和 4 年度中	
事業費	財源内訳	—
目標とする成果	<ul style="list-style-type: none"> ・盲養護老人ホーム（定員 30 床）は、年度の早い時期の満床を目指します。 ・他施設（定員 50 床）については、関係市町村と協議をして可能な限り早期に転換を進めます。 ・こうした取り組みを通じて、早い時期に経営の改善を図ります。 	
担当事業所	優・悠・邑和（なごみ）	責任担当者 施設長 吉澤進治
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> ・満床に向けて、県内、名古屋市内を中心に施設の説明、措置の理解に努めました。入所数は、25 名前後まで増えてきています。 ・転換については、関係機関との協議を進めていますが、確実な日程は未定です。 	